

# 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	3番 久保 教仁議員	30分	1 定住促進に関する政策はどうなっているのか	1 空き家の実態調査は行われたか。 2 住宅分譲地の造成計画はどうなっているか。 3 定住用地を取得したい若者や空き家を購入する若者に支援金の制度は考えられないか。 4 定住を目的とした住宅の新築・増築に対する借入金の利子補てんは考えられないか。 5 市ホームページに定住促進のページを加えられないか。	市長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	12番 柿木原榮一議員	40分	1 特定不妊治療費助成について	<p>1 安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進するとともに、不妊に悩む夫婦の精神的負担の軽減を図るため、不妊治療を受けられた夫婦に不妊治療費の助成金の給付制度はできないものか。</p> <p>2 鹿児島県の状況では、県は1回の治療につき10万円まで、1年度当たり2回を限度に通算5年間で知事が実施医療機関として、適当と認め指定した指定医療機関において、配偶者間で行う医療保険が適用されない特定不妊治療であります。その上に、伊佐市で助成はできないものか。ちなみに体外受精と顕微受精がありますが、医療保険が適用されませんので、治療費がそれぞれ10万～30万円と12万円～40万円とかがかります。県内の指定医療機関が5つありますが、3つが鹿児島市、2つが始良町、加治木町にあります。1時間くらいの場所ですが、当然交通費もいります。大口保健所管内において、県の助成を受けられた夫婦が、19年度で12件、20年度が16件ありました。段々増加の傾向です。霧島市では、平成16年度合併前から整備されていて助成件数で、平成19年度46件、20年度73件で出生件数も12件（19年度）です。</p> <p>3 伊佐市の人口も3万人に減の方向で近づいてまいりました。少子化で子どもが激減するなかで、子どもを望んでおられるご夫婦にもうれしい制度であり、定住促進を外から進めることも大事ですが、伊佐市の中でも検討しなければならないと思うが、どうだろうか。</p>	市長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>2 2009年度全国学力テストについて</p>	<p>1 3回目となる全国学力・学習状況調査が4月21日国公立全校が参加して行われたが、伊佐市教育委員会として参加された理由についてと、教育長も新任され、5カ月が経ちましたが、伊佐市の学力向上についての所感を願いたい。</p> <p>2 昨年は、市町村別成績公表を巡り、「序列化や過度の競争を招く」として実施要領で禁じる文科省と、「学力向上のため」などと促進する知事らと対立があったが、今回の公表は、学力と学習状況調査は、いつの時点、どのようなものになるのか。</p> <p>3 前回の学力調査の現状分析では、全国に比べ、中学生は低かったようで、また、社会に出たら、競争でもあるが、伊佐市の中学校別の公表はできないものか。</p> <p>4 学力調査・学力状況調査の結果の有効活用をどのようにやっていくのか。</p>	<p>教育長</p>	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	5番 諏訪 信一議員	30分	1 特別支援教育 支援員の配置について	<p>2007年から文部科学省は、発達障害のある児童生徒の学校生活を支援する教育支援員の配置がされ、小学校185万7,000円、中学校183万1,000円、地方交付税措置がされていますが、本市はどのように取り組まれているのか伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各校の児童の実態</li> <li>2 支援教職員の配置</li> <li>3 勤務条件（時間・賃金を含む）資格</li> <li>4 特別支援教育を推進する研修等は</li> <li>5 特別支援教育以外に利用されている実態はないのか。（市町村判断で使用可能）</li> </ol>	教 育 長	
			2 市県民税の滞納 対策について	<p>滞納の内訳は、国保税、固定資産税、市民税、軽自動車税、介護保険料、法人市民税で、滞納対策課も設置され、指導員のもと収納効果が出ているようであります。</p> <p>以前は、各校区ごとに申告手続きがされていましたが、現在は、期日を定め、元気こころ館一カ所で申告がなされています。</p> <p>滞納の原因について伺いたい。その為の対策は。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 申告手続きの方法には、問題はないのか。</li> <li>2 経済的理由によるものなのか。</li> <li>3 払う意思があるのか、ないのか。</li> <li>4 固定資産税については、土地評価額が高いのではないのか。</li> <li>5 どのような対策をとられているのか。</li> </ol>	市 長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	21番 植松尚志郎議員	30分	1 川内川河川改修について	<p>1 鶴田ダム周辺の改修は行なわれているが、上流の改修等により、本当に伊佐地区は安全なのか。</p> <p>2 この事業を推進するためには、市長をはじめ、執行部と議会が一緒になって進めるべきと考えるが。</p>	市長	

# 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 ふるさと納税について	伊佐市での件数及び納税額について	市長	担当課長
			2 都市計画について	伊佐市の都市計画構想について 市道八坂井手原線道路改良事業について	市長	担当課長
			3 平成百景曾木の滝開発について	PR方法について 公園整備について 現在の橋の撤去時期及び新設橋の完成時期は。	市長	担当課長

# 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	11番 左近充 議員	30分	1 県道針持・菱刈線のカーブカットについて	1 大口田原・針持間土瀬戸への交差点カットについて 2 菱刈場ノ木・青木元への交差点カットについて	市長	
			2 農作物鳥獣被害対策について	1 大口・鶴田保護区の見直しを 2 猟友会駆除隊の広域化を 3 サル、シカ、イノシシ、アナグマの駆除費はいくらになっているか	市長	
			3 農業所得向上対策について	1 減反水田に飼料米転作を	市長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	6番 畑中 香子議員	40分	1 市民の命と健康を守るためお金がなくても病院にかかれる制度の活用について	1 無料低額診療制度について 不況の長期化で生活困難者が増加しており、病気でも医療を受けられない人のための無料低額診療制度を普及させる対策を行うべきではないか。 2 病院窓口の一部負担金を減免する制度（国保法第44条）の整備について	市長	
			2 小・中学校の教育環境の整備について	1 すべての小中学校の普通教室へ扇風機を設置して、学習環境を整えるべきではないか。 2 校舎の壁が剥離している箇所など応急の処置が必要な部分の修復を急ぐべきではないか。	市長 教育長	
			3 国民健康保険について	1 不況で失業した人が勤務先で加入していた健康保険組合などから国民健康保険に移るケースが増えているのを受け、市町村がこうした新規加入者に国保料の軽減や免除の措置をとった場合の国費増額が決定された。「保険料減免の推進」の方針が、政府の追加経済対策に盛り込まれるなど、市町村に対しても積極的適用促進を促している。申請減免の適用についてどのように行っていく考えか。 2 病気の人への保険証発行を基本的に行うということだが、資格証明書も保険証であるとしているのか。	市長	
			4 中小企業の仕事確保と雇用の創出について	1 小規模公共工事発注登録制度や、住宅リフォーム助成制度の創設で、中小企業の仕事確保のための対策ができないか。 2 政府の補正予算で拡充される「緊急雇用創出事業」を活用し、中高年齢者の一時的な雇用を行う事業について具体的な考えはないか。	市長	



## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	17番 中村 周二議員	40分	1 伊佐のPRについて	クールビズでの互助会のポロシャツは大変良いと思いますが、派手さでは、もう少しかなと思っています。新しく伊佐市がスタートし、この市役所の中にはデザインをさせると、素晴らしい人もいます。新しい伊佐を売る為に、斬新なアイデアで、Tシャツ、ポロシャツ等を作り、伊佐を売り出していく考えはないのか伺いたい。	市長	
			2 定住促進について	古い家を買って、定住をさせるとの事だが、どんな風にやっていくのか伺いたい。	市長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	18番 古城 恵人議員	40分	1 有害鳥獣による農産物・森林被害対策と県・国への働きかけを急げ	<p>1 私は曾木・針持地区における森林被害を調査し、執行部と議員諸君に写真での実態を示した。本市の担当課ばかりでなく、鹿児島県内・県外の自治体をはじめ、林野庁も実情の把握と認識が遅れているといえるのではないかと。本市を取り巻く周辺自治体・森林組合等との被害に関する実態把握について情報交換は行っているのか。また、鹿児島県庁農林課や県森連とはどうなのか。</p> <p>2 これまで大口・菱刈両市町は、伊佐ヒノキを推奨し森林所有者に育成を指導してきた。調査ではシカ被害に遭っているのは主に間伐が行われたところ、つまりシカが移動しやすいところである。林齢30年から伐採期を迎えた60年が被害を受けるとその3m部分は売り物にならず、1㎡の価格は1/3になる。本市はこうした実状をどのように認識されているのか市有林管理者としてまた、森林所有者の身に立ってどう考えているのか見解を示せ。</p> <p>3 本市の伐採届けでは、その後の造林（植林）をこまかく指導している。しかし、現実にはヒノキ、クヌギばかりかスギまでもが被害に遭っており、植林をあきらめた方々からの悩みを聞いている。防護ネット設置も資材と人件費を合わせると、1haあたり数百万の経費がかかる（伊佐森林組合の試算による）。本市はこの実状を踏まえ、これからどう対応する考えか見解を示せ。</p> <p>4 補助事業を受けて造林を行うと、もれなく国営森林保険に加入することになる。ところが、この保険は鳥獣による被害はその対象とならない。これでは国税を投入しての造林（植林）事業が結果として無駄になる。市長は全国市町村に先駆けて国営森林保険の見直し・改正に向けて情報発信し、関係各機関はじめ地元衆参国會議員に強力に働きかけるべきと考えるが見解を示せ。</p>	市長	

## 平成 2 1 年第 2 回定例会一般質問

平成 2 1 年 6 月 1 6 日 ・ 1 7 日 ・ 1 8 日

(17枚のうち11枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
				<p>5 有害鳥獣による農産物被害も年々増加し、その被害の範囲も人家の入り口まで及んできている。これから本市が猟友会や関係機関と連携し駆除の実績を上げることが肝要である。本市は有害鳥獣駆除事業として処理施設運営補助やシカ肉レシピ開発パンフレット作成などが今期 6 月補正予算案に盛り込まれている。大いに評価したい。そこで処理施設への持ち込みは駆除後 2 時間以内、引き取り価格は 4, 0 0 0 円となっているようだ。ハンターの協力や駆除への意欲を促すために更なる工夫が必要ではないか見解を示せ。</p>	市 長	
			<p>2 国・県事業導入にあたっては、それぞれの地域の実情に合わせ工夫を</p>	<p>昨年度の県事業（＝竹林健全化事業）で、針持地区の国道 2 6 7 号線沿いの竹林を伐採し、クヌギの植林が行われた。針持地区は特用林産物生産組合があり 2 0 数年前に針持支所の隣に、たけのこ集荷場が建設され共同出荷してきた地区である。県事業（＝竹林健全化事業）の概要について本市はどう関わってきたのかその経緯と、どんな総括・評価をされているのか示されたい。</p> <p>すぐ隣のさつま町では、1 h a の竹林が整備され、たけのこで年間 3 0 0 万円を越える収入を上げている老夫婦もある。本市も地域の特性を考慮しさらに一工夫がなされるべきではないか。</p>	市 長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	16番 鶴木 誠議員	35分	1 自治会組織の将来について	<p>1 市長が目指す自治会組織の方向について 小集落、大字集落、小学校区の活動によって地域を運営しているが、市長の考える理想的な活動目標を伺いたい。</p> <p>2 人口減少により、今後起こりうる問題点。</p> <p>3 限界集落と呼ばれる地域への対応。</p> <p>4 自治会活動と人材育成について。</p>	市長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	13番 福本千枝子議員	40分	1 曾木の滝観光について	<p>曾木の滝の観光客も年々減少し続けるなか、今回、読売新聞創刊135周年を記念して「平成百景」が決定し、「曾木の滝」が24位にランクされました。改めて「曾木の滝」の偉大さに驚き、大変喜ばしいことであり、また、約2年後には曾木大橋も完成する。そこで</p> <p>1 分水路の完成、そして旧曾木発電所遺構まで含め、どのような観光構想を描かれておられるのか伺いたい。</p> <p>2 毎年11月のもみじ祭りには、県内外を問わず多くの観光客が訪れているが、駐車場が不足し、苦情も多く大変迷惑をかけている。橋の完成に伴い、観光客は増加すると思うが、駐車場整備はどうするのか。</p> <p>3 現在は春の桜、秋のもみじには多くの観光客が見込められるが、シーズンオフになると車も少ない。シーズンを通じての集客が必要と思う。四季折々の花が見られる「曾木の滝」にできないものか伺いたい。</p>	市長	担当課長

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 安心安全な学校環境整備について	<p>2月に文教厚生委員会で、市内20の小中学校の施設維持管理について調査したが、校舎の老朽化によるモルタルの落下、雨漏りにより天井の腐食、フェンスや遊具等の腐食など、改善を急ぐ必要がある中、19棟の耐震2次診断が計画されているが、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の内容について伺いたい。</li> <li>2 耐震基準はどうなっているのか。耐震診断の結果では、補強しないといけないと思うが、優先順位としてどう考えるのか伺いたい。</li> <li>3 建設時からかなりの年数が経っているが、ほとんどの校舎の補強が必要となった場合、財政的にどうなるのか。</li> <li>4 山野中学校が2次診断で補強が必要となった場合、統廃合の問題もあるがどうするのか伺いたい。</li> <li>5 児童、生徒の生命を守るためAED（自動体外式除細動器）の普及が進み、3中学校と小学校の一部に配置されたが、現在の設置状況と今後の設置計画について伺いたい。</li> </ol>	教育長 市長	担当課長

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	9番 沖田 義一議員	20分	1 高熊荘の休館日について	高熊荘の休館日については3月議会において月曜日とすると条例の改正が行われたが、利用者から年中無休としてほしいという要望がある。(年末については現状のまま) この事について伺いたい。	市長	
			2 外国人への支援について	<p>1 言葉や食べ者、生活習慣の違い等により苦勞されている。これらの方々への支援はどのようにされているのか。</p> <p>2 鉄道の廃止やバス路線の縮小等により自ら交通手段を持たない市民は日常生活に大変苦勞されている。特に外国人の方は運転免許証取得が非常に難しい状況にある。この事については全国的なことであるが、伊佐市としての支援について伺いたい。</p> <p>3 外国人の運転免許証取得ができやすいように国に要望することは考えられないか。</p> <p>4 外国人の子どもが学校に入学(途中入学も含む)する場合の支援について伺いたい。(ことばも話せない、書けないも含めて)健康診断、扶助費等は受けられるのか。</p>	市長 教育長	

## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち16枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	7番 今吉 光一議員	20分	1 伊佐市における地デジ化について	2011年7月より全国一斉に地デジ化になり、これに対応するためチューナーや対応テレビの購入をしなければならないが、電波の受信状況が困難な地域もある。 実態はどうか。 この受信困難地域に対しての本市の対応と対策をどのように考えているか。	市長	
			2 携帯電話普及について	携帯電話の普及に伴い送受信地域のエリアは広がっているもの、以前使用できない地域がある。メーカーによって若干の違いはあるが本市の使用不可能な地域の実態は。 高齢化する中、緊急時における携帯電話は非常に有効なものであるが、支援策はないか。	市長	
			3 学校施設の老朽化によるその後の対応	3月定例議会で雨漏りや壁の剥離対策について質問したが、その後教育委員会として市執行部にどのような働きかけをし、その後の状況は。	教育長	



## 平成21年第2回定例会一般質問

平成21年6月16日・17日・18日

(17枚のうち17枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	1番 緒方 重則議員	30分	1 伊佐市の環境 汚染対策について	鉦山の町として栄えてきた本市において、過去にも休廃止鉦山 危害防止事業などに取り組んでこられているが、伊佐市全体の環 境汚染・公害の現状及び今後の対策など、どうお考えか伺いたい。	市 長	